大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみII

令和３年度 第３４号
令和３年９月３日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜みんなで協力して闘う＞

今、本校で行っている感染症対策のお知らせ

春ころまでは、「子どもは、ほとんど感染しないだろう」「本校の子どもは感染していないはずだ」という緩い危機感を前提に、学校での生活を過ごさせてきました。そう考えなければ、または、そう信じていなければ、多くの子どもが一緒になって学校生活を送ることは不可能だろう、と考えていたからです。そのような甘い考えでありましたが、運よく、一人の感染者も出すことなく、これまで、学校運営をしてきました。

しかし、７月に入り、そうした甘い考えでは、学校運営はできないと感じてきました。それは、今現在、本国で猛威を振るっているデルタ株の広がりです。その特徴としては、

○　感染しやすいこと
○　子どもにも感染すること
○　重症化しやすいこと、悪化するスピードが速いこと

等です。

こうしたことから、今、危惧されている感染のスタイルは、「子どもを介して、多くの家庭に広げる」ということです。子どもが学校、園、児童クラブ等で感染し、家族にうつすというものです。そうであるならば学校でやるべきことは

①　ウィルスを持ち込ませない
②　感染させない

の２点に尽きます。その対策として、１００パーセントは無理かもしれませんが、できることから着実に行っていこうのスタンスで、今現在、講じています。

【家庭へお願いしていること】
①　お子さんの健康観察（検温含む）・・・カードに書いて提出
②　具合が悪い場合は、無理をさせずに休んでいただく
③　マスクの着用（可能であれば、徐々に「不織布製」マスクに移行していく）

【子どもたちにお願いしていること】
①　マスクの着用（給食等、マスクを外すときは話をしない）
②　手指消毒、手洗い（教室から出たとき、教室に戻るときは必ず）
③　距離を保つ、密にならない

【学校で行っている対策】
①　手指消毒用のアルコールポンプの設置（１０個プラス各教室）
　※ドアノブや手すりの消毒より、まめな手指消毒の方が効果的・効率的
②　マスク着用の徹底と外す場面の限定
③　教室を含む、校舎内の換気の徹底
④　給食後の歯磨きの停止（流しでの吐き出しで、リスクが高くなる）：来週いっぱい
⑤　フッ素洗口の停止（流しでの吐き出しで、リスクが高くなる）：来週いっぱい
⑥　縦割りグループ清掃を学級清掃に変更
⑦　行事の縮減、実施方法の変更（外部へ出向いての学習の停止：９月いっぱい）

いつ、どこで、だれが、どのような経路で感染するか分からないからこそ、地域みんなで協力して闘わなければならない、この感染症。そんな病気だからこそ、興味本位の誹謗・中傷は厳に慎み、早急な収束を願いながら知恵を絞って対策を進めていきたいものです。